

令和7年度 第3回浦河警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和7年12月11日(木) 午後2時00分から午後3時20分までの間

2 開催場所

札幌方面浦河警察署 大会議室

3 出席者

(1) 警察署協議会委員 5人(定員7人)

会長	田中正人
副会長	西川奈緒子
委員	荒木ゆかり
委員	遠藤貴広
委員	鈴木亜室

(2) 警察署(5人)

署長	猪股信樹
副署長	義川武利
刑事・生活安全課長	浅岡竜介
地域・交通課長	阿部哲男
警務係長	(庶務担当)

4 会長挨拶

5 署長挨拶

6 浦河警察署の業務概況説明

- (1) 警察署の取組
- (2) 統計資料
- (3) 警察署からのお知らせ

7 質問事項『冬季における交通事故防止対策』について

(1) 交通事故発生状況

令和7年12月10日現在、北海道内の交通事故死者数は122名と前年と比べて26名増加しています。

浦河警察署管内の交通事故死者数は1名で、浦河警察署管内の交通事故死者数も1名増加している状況です。

(2) 冬型交通事故の主な形態

冬型交通事故の主な形態は、スリップ事故、吹雪による視界不良事故、動物事故です。

スリップ事故は過去5年度の件数を見ると、12月にピークに達しています。

死亡事故は正面衝突が最も多く、次いで車両単独事故が多くなっており、正面衝突と車両単独事故による死亡事故が9割以上を占めています。

橋梁上やトンネル内、樹林による日陰部分、山間部は凍結しやすい場所となるので、突入前に速度やハンドル調整をして備える必要があります。

スリップ事故を防止するために運行時間・ルートの検討、操作場面を選ぶ、「急」操作をしないことに気を付けてください。

事故を防止するためには、運行自体の検討、運行ルートの検討、二次事故防止に注意して安全運転をお願いします。

動物事故については、エゾシカが関係する交通事故は年々増加しています。特に10月は急激に増加し、11月、12月も比較的高い水準で発生しています。

動物事故を防止するためには、安全速度の維持、ハイビームの活用、出没場所・習性に注意して安全運転をお願いします。

(3) 浦河警察署における交通安全対策

浦河警察署では、見せる取締り活動、見せる街頭活動、飲酒運転根絶対策、広報啓発・情報発信に取り組んでいます。

また、年末年始の時期は飲酒の機会が増えることから、飲酒運転の防止に向けた活動を展開しています。

8 その他の要望・意見と警察の説明

(1) 熊の出没時の対応について

(委員)

浦河町内でも熊の出没が確認されているが、浦河警察署として巡回以外に対策をしているのか。

《警察》

ヒグマ対策の取組としましては、人身被害防止のための巡回活動のほか、道主催のヒグマ対策会議等を通じて関係機関と連絡体制を確立するとともに、自治体やハンターの方と連携し、熊の出没を想定した対応検討や小学校・幼稚園等における安全教室、避難訓練を実施しているほか、ヒグマが市街地に出没した場合は、自治体と連携し、タイムリーな情報発信や住民の避難誘導等を実施しています。

(2) 外国人トラブルについて

(委員)

日高管内でも外国人労働者が増加しておりますが、外国人労働者によるトラブル等の発生状況について知りたい。

《警察》

浦河警察署管内での外国人労働者によるトラブル・犯罪の発生はごくわずかで、暴力的な事件はここ数年は認知していません。

(委員)

浦河警察署管内での外国人運転手による事故は多いのでしょうか。

《警察》

浦河警察署管内にも外国人運転手の方はいますが、事故が突出して多いということはありません。

9 次回の開催予定

令和7年2月下旬から3月上旬頃を予定

以上